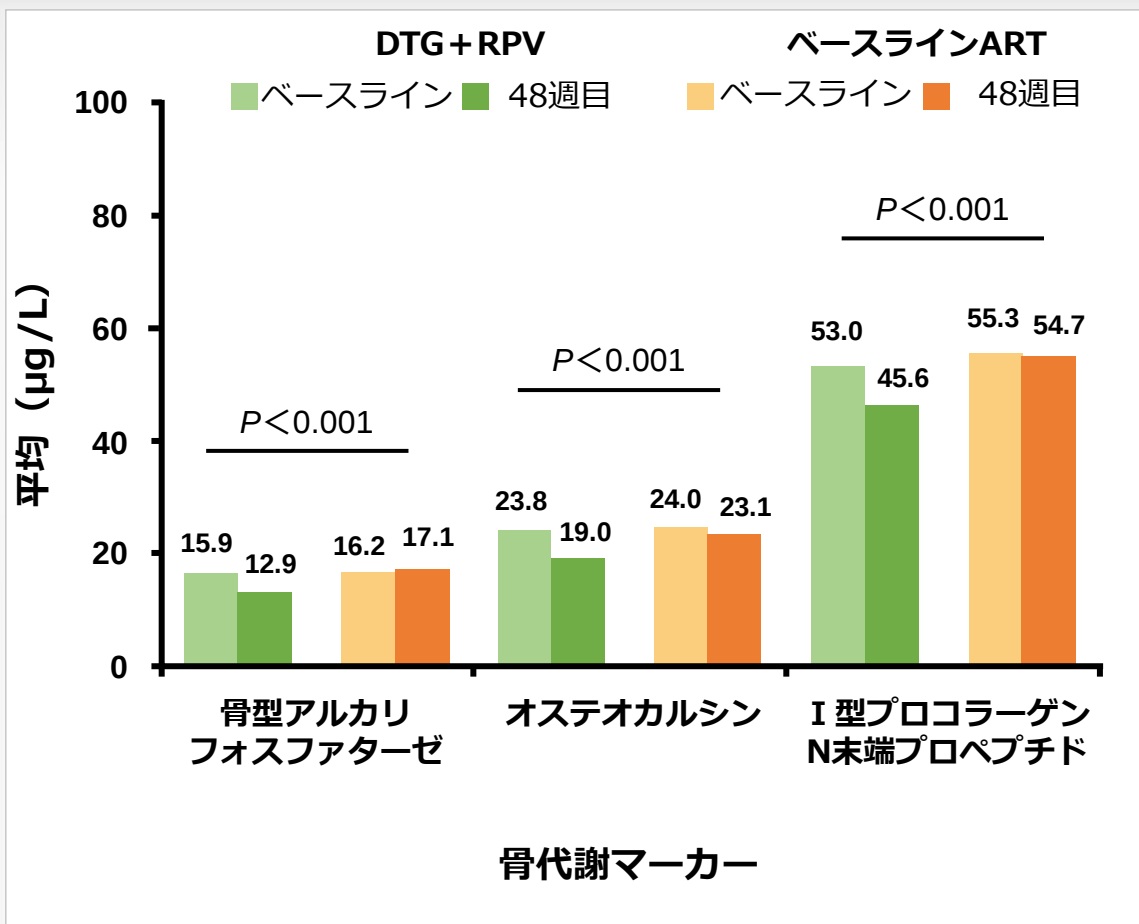


SWORD-1および2試験：これまでのARTでウイルス学的抑制が得られている患者におけるDTG+RPVへの切り替え：安全性アウトカム



- 48週目までのAEの発現率は両群ともに概ね同程度であった。
- Grade1/2の薬剤関連AEの発現率が切り替え群で数値的に高かった：17% vs 2%
- AEによる中止率が切り替え群で数値的に高かった：3% vs <1%
- 両群ともに、ベースラインから48週目までの血清脂質値に顕著な変化はみられなかった。